【校内委員会報告書】

話し合いのルール

組織力を生かし、多角的に子どもを見て、解決策を見い出していこう。

１　取り上げたい行動（事実）を記録しておく。（主訴につながる）

２　担任や担当の取組、質問等に対して、批判的否定的な発言は避ける。

３　「困っているのは子どもである」ことや「具体的な支援策を共有する」ことを確認。

４　個別の指導計画等に活用していく。

校内委員会　○月○○日（　曜日）　１６：００～１６：３０

　　　　参加者（○○担任、校長、教頭、○○、○○、○○）

　　　　①第○学年○○児の実態（長所も含む）　・　②家庭の状況

③検査結果等

　　　　⑦関係機関（医療・福祉）・相談機関（巡回相談の情報も含む）との連携

　　　　④短期目標（学習面・行動面・社会性）

　　　　※必要と思われる支援ツールや方法

⑤本人の取組・本人へのアプローチ

　　⑥環境の整備（役割分担）